

2013年フィリピン土木学会(PICE)年次大会参加報告

2013年11月7日から9日の間、フィリピン・ミンダナオ島ダバオ市において、土木学会（以下 JSCE）が協力協定を締結するフィリピン土木学会（以下 PICE）の第 39 回 National Convention が開催されました。JSCE からは、石井弓夫元会長を訪問団長とする合計 3 名が参加しました。

初日の開会式にて、PICE の Momo 会長による開会宣言なされ、大会テーマとなっている Jakarta Protocol（2013 年 8 月アジア土木学会連合協議会加盟学会が署名）が紹介されました。Momo 会長は開会挨拶の中で Civil Engineer が果たすべき役割について強く主張されていました。

午後は、Plenary として、PICE の 2013 年事業報告、表彰式、特別講演が行われました。特別講演では、PICE Research and Development Office の設置、倫理綱領 Code of Ethics に関する取り組みなどが紹介されました。



Momo 会長開会挨拶



石井元会長の話題提供

2 日目には International Roundtable Discussion が行われました。テーマは”International Cooperation Among Civil Engineers on Disaster Risk Management”であり、石井元会長から東日本大震災を教訓とする災害対応について話題提供を行いました。PICE からは、災害発生時の早急な対応を行うため、EQRP(Earthquake Quick Response Program)を設けたことが紹介されました。

最終日の閉会式では、JSCE として挨拶の機会をいただき、石井元会長は PICE 大会への招待と国際ラウンドテーブルでの発表機会の提供に対する感謝の意を述べました。そして JSCE が来年創立 100 周年を迎え、国際会議や Asian Board Meeting などを開催することを紹介しました。そして石井元会長より、参考資料等とともに JSCE 橋本会長から PICE の Momo 会長宛の 100 周年記念国際会議への招待状が手渡されました。その後、技術講演、Momo 会長による優秀活動委員会などの表彰が行なわれ、閉会しました。

今回の PICE 年次大会期間中に台風 30 号がフィリピン中部を襲い、多数の犠牲者が出ました。大会開催地のダバオ市は幸いにも台風の影響はほとんどなく、無事にミッションを終えることができました。今後も JSCE は PICE との連携を活発にし、ひいてはアジアの防災力向上に貢献すべきであると強く感じました。

(国際センター事務局 記)